

入院前に心臓カテーテル検査の動画オリエンテーションを導入した効果

¹公益財団法人 星総合病院坪井 美佳¹、二瓶 歩佳¹

【背景】当院では現在、心臓カテーテル検査を受ける患者は、入退院センターで紙面のクリティカルパスに沿った説明を受けている。先行研究では紙面オリエンテーションよりも動画オリエンテーションの方が、不安の軽減に繋がったことが明らかになっている。また、オリエンテーションの内容は、看護師が患者へ伝えたい内容と患者の求めている情報にはずれがあることが明らかにされている。このことから昨年度、心臓カテーテル検査を受ける患者が抱く不安と、オリエンテーションに求める内容を明確にした上で、心臓カテーテル前・中・後の流れを視覚的に理解できる動画を作成し導入した。その結果、動画オリエンテーションは、紙面オリエンテーションよりも視覚的に情報を提供できるため、イメージ化に繋がりがやすく、初めて心臓カテーテル検査を行う患者の不安軽減に効果的であることが分かった。また、この動画は入院後に視聴としていたが、動画を視聴するタイミングについて、入院前に視聴希望と回答した患者がいた。今回、外来と連携を図り、入院前にオリエンテーション動画を自宅で視聴できるようにした。早期に動画視聴を行うことが、患者の不安軽減にどのような影響が生じるかを調査する。【方法】A病棟に心臓カテーテル検査・治療で入院した青年期～老年期の患者を対象とし、質問紙によるアンケート調査を実施する。【結果】現在調査中であるが、入院前に動画を視聴することで、患者の不安軽減と満足度の向上が得られると予測される。